

第68回全日本大学バスケットボール選手権大会 大会要項

1. 名称 第68回全日本大学バスケットボール選手権大会
2. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会 全日本大学バスケットボール連盟
3. 後援 スポーツ庁（申請中） 三菱電機株式会社 朝日新聞社
4. 特別協賛 三菱電機株式会社
5. 協賛 株式会社モルテン
6. 主管 一般社団法人関東大学バスケットボール連盟 関東大学女子バスケットボール連盟
7. 期日 平成28年11月21日（月）～11月27日（日）
8. 会場 国立代々木競技場第二体育館（21日～27日）
大田区総合体育館（21日～24日）
和光市総合体育館（25日）
日本体育大学 世田谷キャンパス（26日）
9. 参加資格 ①公益財団法人日本バスケットボール協会に加盟登録されたチームであること。
②公益財団法人日本バスケットボール協会に競技者登録された選手であること。
③本大会参加大学は、全日本大学バスケットボール連盟（以下、本連盟）に登録料を添えて加盟登録したものの中から、各地区連盟より推薦された大学とする。
④本大会参加大学は、チームスタッフ内にJBA公認C級コーチ以上の資格を有する者を1名以上事前に大会登録しておくこと。試合の際、ベンチで指揮する者は、登録された資格を有するコーチであること。なお、ライセンスを取得するため講習会を修了し試験に合格している者がJBAならびに日本体育協会に登録事務手続きを行っている場合は、資格を有する者とみなす。また、コーチ（指導）実績1年目に限りJBA公認D級コーチ資格でも認める。
10. 参加チーム 男子32大学 女子32大学
①前年度1位から4位までの地区学生連盟より1大学ずつの4大学を推薦
男子（関東学連より4大学）
女子（関東女子学連より2大学 東海学連より1大学・関西女子学連より1大学）
②開催地区の学生連盟より1大学を推薦
男子（関東学連より1大学） 女子（関東女子学連より1大学）
③残り男子27大学、女子27大学の内訳は次の通り（大学登録数の按分比率により決定）
<男子>北海道地区（2） 東北地区（2） 北信越地区（2）
関東地区（7） 東海地区（3） 関西地区（5）
中国地区（2） 四国地区（1） 九州地区（3）
<女子>北海道地区（2） 東北地区（2） 北信越地区（2）
関東地区（7） 東海地区（3） 関西地区（5）
中国地区（2） 四国地区（1） 九州地区（3）
11. 競技方法 ①トーナメント方式とする。3位決定戦および5位～8位決定戦を行う。
試合球については、本連盟指定球を使用。（男子は12面体7号球・女子は12面体6号球）
②審判については1・2回戦までの試合および5位～8位決定戦は「ツーパーソンシステム」で行い、準々決勝以後の試合は「スリーパーソンシステム」で行う。
12. 大会規定 ①大会登録
イ. 大会登録は、選手15名以内、スタッフ（部長、監督、コーチ、アシスタントコーチ、主務、トレーナー他）7名以内とする。但し、スタッフの名称は部長、監督以外は各チームによって変更も可能である。また、部長が監督を兼務している場合は1名として数える。
その他2名をコンディショニングスタッフとして申請できる。ただし、ベンチには入ることはできないので、ベンチ後方にてサポートすること。
尚、締め切り後の登録変更は一切認めない。
ロ. 公益財団法人日本バスケットボール協会規定による外国籍選手については、大会登録での人数制限は設けないが、競技中、コート上で同時にプレイできる外国籍選手は1名とする。（オンザコート1）

②ベンチ

- イ. ベンチは、組み合わせ番号の小さいチームがオフィシャル席に向かって右側とする。
- ロ. ベンチにはゲームエントリーされた選手、及び登録されたスタッフ以外は入れない。
- ハ. 試合においては、「9. 参加資格④」に該当するコーチが、1名以上ベンチ内にいない場合は原則没収試合となる。
また、試合中公認コーチは、JBA 公認コーチ証を胸の前に提示すること。

③ユニフォーム

- イ. ユニフォームは、組み合わせ番号の小さいチームが淡色（白色）、大きいチームが濃色を着用する。（但し、2回戦目からは当該大学間で話し合いにより大会本部の了承を得た上で変更してもよい。）
- ロ. ユニフォームの番号は、1番から99番までと、0番または00番を使用することができる。但し、大会期間中同一番号とする。
- ハ. 大会登録の際、主将（キャプテン）を一番前に置く。その他の記載順については番号順とする。
- ニ. ユニフォームのシャツからはみ出してしまう上半身用、腕用のサポーター様のもの（パワーサポーター、パワースリーブなど、通常のスポンサーも含む）を着用する際に、淡色（白色）のユニフォームの場合は、ユニフォームと同色のものを着用すること。濃色のユニフォームの場合は、ユニフォームと同色もしくは黒色のものを着用することができる。
- ホ. ユニフォームのパンツの下に、パンツより長いアンダーウェア（パンツよりはみ出してしまうアンダーガーマント、パワータイツなど）をはくことは、パンツと同じ色であっても認められない。
- ヘ. やむを得ない事情により上記ニ～ホを順守できない場合は、事前に本連盟に申請し、許可を得ること。
- ト. 2015年4月1日ユニフォーム規程改定により、シャツの番号は同一チーム内で0番と00番を同時に使用できるようになった。また、パンツの長さは膝上までとし、膝頭にかかってしまうパンツはユニフォームとして認められない。

④棄権チーム

- イ. 止むを得ず棄権しなければならない場合は必ず当該試合の1日前までに、本連盟の了承を得るとともに、相手チームに連絡すること。
- ロ. チームが急な事故に遭い棄権をする場合は、至急大会本部に連絡すること。尚、その処置については理事会で審議する。

⑤メンバー表

- イ. メンバー表は、大会指定用紙を使用し、前の試合のハーフ・1ゲーム目の場合はゲーム開始30分前までに大会本部に提出し、チェックを受けること。
- ロ. 提出メンバー表の備考欄に、外国籍選手は「外国人」と記入すること。

⑥推薦

本大会の男女各上位8チームを2017年1月に開催される「第92回天皇杯・第83回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会」に推薦する。この大会は「2015～バスケットボール競技規則」により開催され、着用ユニフォームに関してもこれに準じること。

13. その他
- ・ゲームが定刻通りに終わらない場合は、次のゲームは前のゲーム終了後原則10分後に開始する。
 - ・その他については、注意事項を参照のこと。

その他の問題については、本連盟の判断を最終決定とし、本部役員の指示に従う。上記大会規定以外のルールは「2015～バスケットボール競技規則」、「全日本大学バスケットボール連盟規約」を適用する。